

平成26年度 外務省ODA予算の概要

I. 26年度当初予算

平成26年3月
(単位:億円)

	平成25年度		平成26年度	
	予算額	伸率	予算額	伸率
政府全体	5,573	▲0.7%	5,502	▲1.3%
うち 外務省	4,212	0.7%	4,230	0.4%
無償資金協力	1,642	1.6%	1,667	1.5%
JICA運営費交付金	1,469	1.1%	1,503	2.3%
分担金・拠出金	499	▲2.5%	431	▲13.8%
援助活動支援等	601	0.4%	630	4.8%

(参考) 25年度補正ODA予算追加額

(単位:億円)

政府全体	1,639	
うち 外務省	1,450	
【外務省分 主なもの】		
>シリア・パレスチナを含む中東情勢等に対する緊急支援	194	>紛争・自然災害等に対する人道支援 552
>ASEANに対して緊急に執るべき措置	282	>PKO分担金 38
>アフガニスタン支援	232	>途上国・新興国における日本方式普及・インフラシステム輸出等の取組支援 83
>中小企業・地方自治体の国際展開支援事業	43	>アフリカ諸国の人材育成を通じた日本企業進出支援(ABEイニシアティブ) 20

II. 26年度当初予算の形態別概要

>無償資金協力

1,667億円(+25億円,+1.5%)

- 『日本再興戦略』に明記された「経済協力の戦略的な活用」の基本方針の下、①日本にとって好ましい国際環境の形成、②新興国・途上国と日本の成長の実現、③人間の安全保障の推進と日本への信頼の強化の3つの目標実現のため、以下の重点事項を中心に所要額を計上。
⇒ミャンマー支援103億円、中東・北アフリカ等における支援132億円、インフラシステム輸出148億円、中小企業の国際展開支援24億円、医療技術・サービスの国際展開15億円、対アフリカ支援(TICAD Vを踏まえた成長加速化支援)273億円、地方自治体の国際展開支援38億円、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジの推進105億円、女性の能力開花と活動支援110億円、ミレニアム開発目標(MDGs)達成支援157億円

>JICA運営費交付金

1,503億円(+34億円,+2.3%)

- 『日本再興戦略』に明記された「経済協力の戦略的な活用」の基本方針の下、①日本にとって好ましい国際環境の形成、②新興国・途上国と日本の成長の実現、③人間の安全保障の推進と日本への信頼の強化の3つの目標実現のため、以下の重点事項を中心に所要額を計上。
⇒ミャンマー支援45億円、中東・北アフリカ等における支援100億円、インフラシステム輸出170億円、中小企業の国際展開支援45億円、医療技術・サービスの国際展開10億円、対アフリカ支援(TICAD Vを踏まえた成長加速化支援)99億円、地方自治体の国際展開支援16億円、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジの推進66億円、女性の能力開花と活動支援40億円、ミレニアム開発目標(MDGs)達成支援266億円

>ODA分担金・拠出金

431億円(▲69億円,▲13.8%)

- 分担金及び義務的拠出金については、国際的な義務を誠実に履行
- 任意拠出金(総額231億円(▲118億円,▲33.9%))については、必要性につきゼロベースで見直した上で、真に不可欠な案件に限り、既存のコミットメント等を踏まえてメリハリ付け
⇒国連開発計画(UNDP)拠出金コファンド^①66億円(対前年度邦貨同額)
⇒国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)拠出金41億円(▲11億円)②補正▲10億
⇒国連人口基金(UNFPA)拠出金24億円(+3億円,+13.3%)
⇒世界エイズ・結核・マラリア対策基金拠出金0億円(▲100億円,皆減)
③資金ギャップに対する緊急的な対応を行うために237億円を平成25年度補正計上

>援助活動支援等

- 在外公館における経費等